



【校訓】

「継続は力なり」

【学校教育目標】

「愛と力と夢よ あふれよ」

【スクールミッション】

- 生徒の興味・関心、進路実現等に応じて柔軟に教育課程を編成し、個々の進路実現に向けて必要な能力や態度を身に付けた生徒の育成
- 向学心や探究心を身に付け、自己の進路決定に向けて意欲的に学習に取り組む生徒の育成

【キャッチフレーズ】 Teine Pride ～一人一人が手稲高校～

目指す学校像	目指す生徒像
「北海道で一番生徒が伸びる学校」 ・自ら学ぶ意欲を高め、確かな学力を育む学校 ・豊かな心と健康な体を持つ生徒を育む学校 ・グローバル社会におけるリーダーを育む学校	・「自ら学ぶ力」を持ち、高い志の実現に向けて自分の考えと他の意見とを総合し、ともに学び合える生徒 ・「夢を描く力」を持ち、意欲的に課題に取り組み主体的に活動できる生徒 ・「ともに生き抜く力」を持ち、広く社会に貢献できる生徒

領域	対象	中期目標	今年度の目標	取組の具体
教 育 活 動	学習指導	○生徒の主体性を育成し可能性を高める学習指導の実践 ○思考力・判断力・表現力を育成する主体的な学びの推進	(1)指導方法と観点別学習状況評価について研究する。 (2)新学習指導要領や55分授業のねらいをふまえて、一層の授業改善を図る。	・観点別学習状況評価に係る校内研修および教科内研修会をとおして適切な指導と評価の一体化を図る。 ・校内研修の充実を図るとともに外部研修会への積極的な参加促進および成果還元を推進し、魅力的な教育課程を進める。
	進路指導	○地域や保護者の期待に応える進路指導 ○進路実現に向けて生徒が主体的に学習に取り組む姿勢の育成	(1)情報提供を適切に行う。 (2)進路指導の在り方について、常に検証・改善を図る。	・進学講習や講演会および情報提供等を効果的に実施する。 ・生徒の進路希望の実現に向けた指導の充実を図る。
	キャリアガイダンス	○生徒の主体的な進路選択・科目選択に結びつける支援の実施 ○3年間を通じて基礎的・汎用的能力を育むキャリア教育の設計	(1)生徒の興味関心や適性を踏まえた科目選択を指導する。 (2)課題解決学習を通じて、生徒に必要な様々な能力を育成する。	・生徒や保護者への十分な説明を行い、適切な科目選択指導に取り組む。 ・生徒の進路意識および学習意欲の向上を図る。 ・分掌・年次・教科間および外部関係機関と一層の連携を図る。
	生徒指導	○自転車事故防止の指導 ○集団生活における協調性や主体的な自己の役割についての理解促進	(1)自転車事故防止および乗車マナーの指導を適切に行う。 (2)学校生活における自分の立場を理解させ、他との協調性を養う。	・交通安全指導を徹底し、事故防止および自転車乗車マナー指導の充実を図る。 ・自己と他者を尊重する心を育むとともに、「いじめ見逃しゼロ」を目指す。
	特別活動	○生徒会・HR活動、学校行事、部・局・同好会活動の主体的な運営 ○生徒の人間の成長のための教職員間連携	(1)生徒の自主性を尊重し、活発な活動となるよう支援する。 (2)生徒の人間の成長に寄与する。	・特別活動を通じ、生徒の意識や意欲を高め、人間的な成長を促進できる充実した活動となるよう支援する。 ・各年次や分掌と連携し、活動の目的が達成されるよう支援する。
	健康・安全指導	○特別支援教育の必要性を踏まえた指導の充実 ○教職員間及び学校・家庭・各関係機関との連携を基盤とした相談体制の充実	(1)特別支援教育に係る情報の共通理解を図る。 (2)関係機関等との連携を図り、相談体制を充実する。	・特別支援教育に係る情報を教職員に提供する。 ・教職員間および家庭、SCやSSW等と連携し、配慮や支援を必要とする生徒に対して計画的な相談活動を行う。
学 校 運 営	信頼される学校づくり	○「開かれた学校」実現のための教育成果の周知と普及 ○地域や保護者との連携体制の構築	(1)ICTを活用して積極的な情報発信に努める。 (2)地域の人材・行事等を積極的に活用し、学校PRにつなげる。	・「楽メ」やWebページを活用し、積極的に情報発信する。 ・地域人材や教育資源を活用した教育活動を積極的に推進する。
	組織運営	○PDCAサイクルによる組織運営の充実 ○働き方改革の推進	(1)マネジメントサイクルの効率を高め、課題改善を推進する。 (2)教職員の意識改革および業務の平準化を図る。	・学校経営シラバス評価や学校評価アンケートを活用し、積極的・組織的な改善に取り組む。 ・北海道アクションプランに掲げられた取組を推進する。
	教職員の資質向上	○持続発展可能な学校の実現に向けた意識啓発 ○危機管理体制の確立	(1)主体的な研修参加を促進する。 (2)服務規律遵守について確実に意識啓発する。	・学校改善および授業改善に向けて、主体的な研修参加を促進する。 ・研修や啓発をとおして、不祥事を未然に防止するとともに、いつでも相談できる職場環境づくりに取り組む。